

# 部長会議

日時：令和4年4月1日（金）

午後3時30分～

場所：市役所4階 庁議室

## 1 市長の話

- 今年度は、私の就任1期目総決算の年でもある。川西市が変わってきたこと、これまで動いてきたことを市民のみなさんに実感してもらえる1年にしていくことが大きな目標。
- 総合医療センターの開設、中学校給食のスタートなど市民に分かりやすいものは、変わってきたということを実感してもらえると考えているが、一方で、市民に見えにくいところにもしっかりと取り組んでいきたい。
- 1点目は、組織がもっと変わっていかなければいけないということ。仕事をする事、市民を幸せにすること、川西に貢献をする事を通じて職員に幸せになってほしい。それぞれの思いをもって入庁した職員が「ここで働いてよかった」といえるような組織にしていきたい。そのために、部長会議のメンバーには、どうやったら仕事が楽しくなるのか、やりがいを感じられるようになるのかを部下にしっかりと伝えていってもらいたい。また、職員がどんな顔をして仕事をしているのか、十分に目配り、気配りをする事と。
- 2点目は、職員には誠実であって欲しいということ。失敗をしてしまったとしても、隠すことなく明らかにし対応をしていく。それが市民に対し誠実に向き合うということ。自分のためではなく、市民のためにどういう行動をとるかという価値観を持ってほしい。
- 3点目は、一人ひとりの職員が自分自身に何ができるのかということを中心に考えて行動して欲しいということ。現場の改善に関しては、誰かが変えてくれるのを待つのではなく、気がついた職員が改善していくという思いをもってほしい。
- また、職場のマネジメントについて、本年度は次の4点にしっかりと取り組んでほしい。
- 1点目は、職員が孤立しないように職場でコミュニケーションをとってほしいということ。コロナの影響が続いていることもあり、コミュニケーションが難しくなっているため、積極的に取り組んでいただきたい。
- 2点目は、タイムマネジメントをしっかりと意識して欲しいということ。各課でのスケジュールリングについて、しっかりと取り組んでいただきたい。また、市長協議についても事前に協議資料を送ることとし、協議参加者が資料を読んでいることを前提として要点のみ説明をすることで、具体的な内容について協議を進める時間としていきたい。

- 3点目は、個別の職員へのマネジメントについて。そのための時間を確保できないことが、人材育成など取組みを進められていない原因でもあると思う。時間外勤務について、なぜ残業する必要があるのか、その理由をひとつひとつ具体的に明らかにすること。課長は理由を把握し、時間外勤務縮減に向けしっかりとマネジメントを行ってほしい。
- 4点目は、情報共有を十分に行って欲しいということ。報告のできる関係、体制を職場内でしっかりと築き、業務に関する情報共有を十分に行ってほしい。

## 2 新任及び異動のあった部長級職員の紹介・あいさつ

- 新任及び異動のあった特別職、部長級職員は次の7名です。
  - 部長級 (新任) 曾野 理事 (美化推進担当)
  - (異動) 作田 健康医療部長
  - (新任) 宮下 都市政策部長
  - (新任) 篠崎 資産マネジメント部長
  - (新任) 石倉 消防長
  - (新任) 井上 理事 (猪名川上流広域ごみ処理施設組合)
  - (新任) 船木 理事 (社会福祉協議会)

## 3 通知及びお知らせ

- (1) 令和4年度行政組織図(管理職の配置概要)について(総合政策部)
  - 新たに設置・変更のあった組織の概要は次のとおりです。
    - ①資産マネジメント部の新規設置。(部内に資産活用課と施設マネジメント課を配置)
    - ②総合政策部に行革推進課とICT推進課を新規新設
    - ③健康増進部を健康医療部とし、保健・医療政策課と保健センター・予防歯科センターを新規設置。
    - ④こども未来部に入園所相談課を新規設置。
    - ⑤こども支援課に障害福祉課が所管していた障害児に関する事業を移管。
- (2) 令和4年度部長会議について(総合政策部)
  - 部長会議は、原則、月に1回と、年度当初と終わり及び年末年始に開催します。
  - 年末年始等の部長会議の出席対象者は、部長級とし、月1回の通常の部長会議は、井上理事、船木理事、佐谷市議会事務局長を除くメンバーで開催します。
  - また、昨年度同様、重要施策情報等の共有化を図るため、副部長級(担当副部長を除く)にも臨席いただくこととします。
  - また、今年度より部長会議を含めた庁議はペーパーレスで開催します。

### (3) 令和4年度の行財政運営について（総合政策部）

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら、総合戦略及び行財政改革を推進し、次期総合計画策定にも本格着手するとともに、コロナ禍で実施できていなかった事業の実施など、多くの課題に迅速に対応していくことが求められます。具体的には、次の5つの事項に取り組んでいきます。詳細につきましては、ガルーン掲示板に通知文を掲示するので、ご確認をお願いします。詳細につきましては、ガルーン掲示板に通知文を掲示するので、ご確認をお願いします。また財務的、組織的な改正については企画財政課、総務課を通じて留意事項を示していきたいと考えております。

#### ①意思決定の円滑化と政策形成プロセスの透明性向上

政策会議（政策調整会議）を定期開催とし、時期を逸することなく、意思決定を行う。

また、政策会議での決定事項は、速やかに公表することを基本とし、いつ、どこで、どのような政策が決定されたのかを明確にする。また今後は資料の事前配布及び説明の簡素化を徹底し、パソコン持ち込みによるペーパーレスでの会議を基本とする。

#### ②事業実施プロセスの共有と公表

検討及び実施段階における事業実施プロセスについて、引き続き全庁で共有する。明らかになった課題については、実行しながら対応し、短いサイクルでPDCAを回すことで早い改善につなげる。また事業実施プロセスは原則公表とし、透明性向上を図る。

#### ③行財政改革の推進

前年度までに実施した事業再検証や、団体運営補助金及び団体事務局事務の見直しについては、その進捗状況を全庁で共有するなど、フォローアップを行う。また、補助金と同様の性格を有する市税等の減免、土地等の無償貸付について、目的や基準を明確にしたガイドライン等の作成を進める。

#### ④組織力強化に向けた取り組み

各所属において、人材育成、職場環境の改善、職員満足度向上及び内部統制の強化など、組織力強化に向けた取り組みを検討し、その実施状況を共有する。また、不測の災害などが起こったときにも可能な限り対応できるようまた、不測の事態にも対応できるよう、マンパワーの確保及び機動的な運用を検討する。

#### ⑤ポストコロナを見据えた事業実施、総合計画をはじめとした計画策定

国の財源を活用しながら、子どもへの支援、まちのにぎわいづくり、新たな経済対策、公共交通への支援を実施するとともに、行政デジタル化に向けたICT総合戦略の推進を加速化する。また、第6次総合計画をはじめとした各分野の計画策定については、その理念を共有しながら実施していく。

## 4 その他

### ○デジタルサイネージについて（総合政策部）

- 本日から、川西能勢口駅前のペDESTリアンデッキにデジタルサイネージを設置し、稼働させています。来週から市政情報の本格的な発信を行っていく予定です。各部において流したいコンテンツがあれば、広報広聴課と調整し、積極的に活用してください。